

富士宮の気象

著者	山崎 誠
雑誌名	静岡地学
巻	10
ページ	10-12
発行年	1967-10-26
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00026064

富士宮の気象

山 崎 誠

静岡県は温暖湿潤の気候であり、特に沿岸部の冬の気温が高いことはよく知られている。

富士宮は静岡県の北東部に位置し、富士山麓にあるため県内ではやや特異な気候を示している。気温では夏あつくて冬さむいという一般的な傾向の中でも、冬期の低温にやや内陸的な特徴がみられ、降水量の変化では西日本型で梅雨どきに降水量が多い。また北系統の風が極めて少なく、北西の季節風が卓越する冬期でも一割程度である。

註 富士宮市は面積 314km²、人口約 8 万の小都市である。標題の「富士宮の気象」は標高 145 ± 5 m の富士宮市立富士宮第二中学校で 10 時に観測した資料による。

要素	単位	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
平均気圧	0.1 mb	9962	9968	9963	9969	9941	9916
平均気温	0.1 ℃	50	59	86	135	173	208
最高気温	"	109	119	143	187	224	247
	"	199	253	249	292	292	308
最低気温	"	-09	-01	29	83	123	168
	"	-105	-77	-73	-21	23	75
平均湿度	0.1 %	606	588	615	674	696	764
平均降水量	0.1 mm	753	900	1541	2196	2291	3340
月降水量 極大	"	1393	2399	3423	4530	4641	6400
" 極小	"	84	50	235	1215	1063	492
降水日数 (0.1 mm 以上)	0.1 日	65	75	116	133	151	172
最多風向		WNW	SSW	SSE	SE	SSE	SSE
平均雲量	0.1	45	50	58	68	72	84
快晴日数	0.1 日	142	113	85	57	39	12
晴	"	68	70	85	74	87	64
曇	"	73	72	96	118	130	159
雨	"	27	27	44	50	53	65
霜	"	190	135	77	19		
結氷	"	203	156	78	10		

註 降水日数は 1949~1963，最多風向は 1949~1958，それ以外は 1949~1966 の資料。

1 気 温

最高気温と最低気温の相加平均をとり平均気温を求めてみた。平均気温の極大は8月で、極小は1月にあられ差は21℃である。近隣の富士市石坂（以後吉原と表わす）と比べると、夏はおおむね同じであるが、夏以外はほぼ1～1.5℃低温である。富士宮市原（以後原と表わす）と比べるとほぼ2～2.5℃高温である。季節ごとに比べると第1表のようである。

第1表 季節ごとの気温の比較

	標高(m)	春	夏	秋	冬	全 年
吉 原	35	14.2	24.5	18.5	7.6	16.5
富 士 宮	145	13.1	23.9	17.5	6.1	15.2
原	500	11.1	21.3	15.5	4.2	13.0

つまり富士宮の気温は吉原と比べると夏はやや内陸的で、夏あつく冬さむいといえる。同じ市内であるが原は高原をしのばせる。

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	全 年	極 値 起 日
9913	9918	9902	9980	9994	9983	9951	
248	260	230	173	123	74	151	
282	301	269	223	179	135	201	
346	364	334	300	254	222	364	30.8.9
213	219	186	125	67	14	101	
124	129	78	20	-32	-75	-105	38.1.25
787	734	742	693	660	620	681	
2223	2690	2575	1703	1124	784	22120	
4156	4935	5752	2722	2018	1836	6400	25.6
583	1355	629	993	142	89	50	37.2
163	151	149	129	97	71	1472	
SSE	SE	SSE	SE	SE	SE	SSE	
81	69	73	66	52	45	64	
09	33	28	55	103	141	817	
89	120	102	100	86	68	1013	
167	123	113	109	88	79	1327	
44	34	57	45	24	22	492	
			00	51	198	670	
				17	149	613	

気圧は海面更正がしてない。

